



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、高校生招へい第3陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より高校生22名および引率者3名が、2016年11月15日～22日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ホームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした、帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 25名（サウスメクレンバーグ高校、ノースメクレンバーグ高校、ウェストメクレンバーグ高校）

【訪問地】

東京都、奈良県

2. 日程

- 11月15日（火） 成田国際空港より入国
- 11月16日（水） 【オリエンテーション】
【講義】外務省北米局「日本の外交政策」
【最先端技術】日本科学未来館
- 11月17日（木） 奈良県へ移動
【歴史的建造物視察】東大寺
【地域概要講義】奈良県庁
- 11月18日（金） 【学校交流】奈良県立法隆寺国際高等学校
- 11月19日（土） 【ホームステイ】
- 11月20日（日） 【ホームステイ】歓送会
【ワークショップ】
- 11月21日（月） 東京都へ移動
【報告会】
【都内視察】秋葉原
- 11月22日（火） 【歴史的建造物視察】明治神宮、原宿
成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都

	
11/16【最先端技術】日本科学未来館 (東京都)	11/21【報告会】(東京都)

地方プログラム (奈良県)

	
11/17【地域概要講義】奈良県庁(奈良市)	11/17【歴史的建造物視察】東大寺(奈良市)
	
11/18【学校交流】奈良県立法隆寺国際高等学校 (生駒郡)	11/18【学校交流】法隆寺散策 (生駒郡)
	
11/20【ホームステイ】歓送会 (生駒郡)	11/20【ワークショップ】(大阪市)

4. 参加者の感想

◆ アメリカ 高校生

講義はきちんと準備されていてフォーマルな雰囲気でした。官庁では、全てが完璧に準備されており、中断されることもありませんでした。学校交流で出会った人たちは礼儀正しく心から私たちを歓迎してくださいました。ホームステイでは、日本の生活様式を楽しみ、一生忘れることが出来ない思い出を作りました。

◆ アメリカ 高校生

講義は全て素晴らしかったです。理解しやすく、またハンドアウトが配られたことも理解の促進につながりました。学校交流を行った学校は一般的な学校のように、アニメやゲームで見てきたもの、そのものでした。アメリカの学校に比べて、とてもきれいで片付いている印象です。校長先生の学校紹介はとても良かったです。講義で話されていた、日本は武器を持たないというルールはとても興味深いと思います。賛否両論あると思いますが、私個人としては、時に武力は平和を維持するための最後の手段として使われることもあると、考えています。ホームステイは最高で、ホストファミリーを心から好きになりました。ホストファミリーと過ごした時間は私にとってとても貴重で、忘れられない経験となりました。今後も連絡を取り合い、近いうちに再会できることを期待しています。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流先教員

たった数日の滞在にもかかわらず、ホストをした生徒とアメリカでの再会を望む生徒が非常に多く、人的交流が成功しているのが窺い知れます。言葉だけに頼って異文化との接触に二の足を踏む生徒が多い中、海外からの訪問者に積極的に接しようとする態度が芽生えたのは大変な成果だと考えております。

◆ 学校交流先高校生

初めて訪日団と会った時はコミュニケーションがとれるかどうか不安がいっぱいでしたが、日本語がとても上手で驚きました。ホームステイ時には日本とアメリカの違いや学校のこと、アメリカで流行っているもののこと等、たくさん話をしました。2 月に訪れる時には自分から英語で、もっと日本の良いところを広めていけたらいいなと思います。3 日間、楽しい時間を過ごしました。

◆ 学校交流先高校生

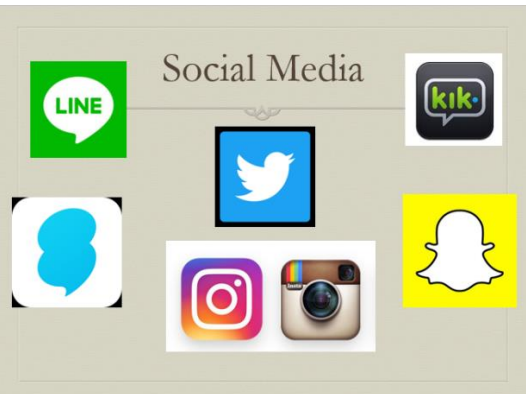
人生初のホームステイ受け入れだったので、緊張と不安でいっぱいでしたが、訪日団の話す日本語の上手さに驚きました。話が途切れても彼らから積極的に話しかけてくれたので嬉しかったです。歓送会で分かれるのがとても寂しく、2 月にまた会えるのが待ち遠しいばかりです。一生忘れられない素敵な思い出を得ることができました。

※相互交流プログラムにつき、日本側受入れ校は 2017 年 2 月に米国訪問

6. 参加者の対外発信

 KAKEHASHI PROJECT "Kakehashi" means "a bridge" in Japanese. The Kakehashi Project is an exchange program fully funded by the Japanese government. The Japanese Consulate General of Atlanta introduced CMS to this project. SMHS was one of only eight high schools from the USA selected to participate in SY16-17. South served as the umbrella for a group of 22 CMS students and three teachers from South, North, and West Meck high schools to visit the Horyuji International High School in Nara and other places from November 14-22, 2016. From February 1-7, 2017, South hosted 23 students and two teachers from Horyuji International High School including home stays with South families from the 3rd-5th.	#kakehashi2016 #jice #USA 
プログラムについての発信 北・南・西メクレンバーグ高校から 22 名の学生と 3 名の引率者が KAKEHASHI Project に参加しました。	ホームステイについての発信 ホストファミリーと一緒に。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
アクション・プランの発表 1 プログラムで得た経験や気づきを SNS で発信していく	